

作者プロフィール

柚木 文夫氏 千葉県隊友会会員 習志野支部長 桧町陸幕 平成 2 年退官 1958 年防衛大学卒
元防大山岳部監督 現自衛隊山岳連盟会長

追憶の上州武尊山

剣ヶ峰～沖武尊(武尊山本峰)の峰々の連なり



過ぎ、中ノ岳の山腹を巻き、メルヘンチックな池塘のある草原を通過し、最後に岩場の急斜面を一登りして、巨大な日本武尊像に迎えられ 9 時半、武尊山山頂（「沖武尊」とも呼ぶ）に到着した。

曇りがちではあるが、立派な方位盤が備わった山頂からは 360 度のパノラマが展望出来る。北は至仏山、燧ヶ岳の向こう

9 月半ば、上州武尊山（2158m）に登った。武尊と書いて「ほたか」と読む。北アルプスの穂高連峰と分別するため、こちらは「上州武尊」と呼ぶことが多い。

私にとっては先年、僚友 N 君を雪崩で失った追憶の山でもある。麓の民宿での前夜、故人を偲びながらしっかり酒を酌み交わした。

翌朝 5 時半、N 君馴染みの宿の主人が武尊スキー場の上（1650m 付近）まで車で送ってくれた。6 時、スキー場上部の最後の斜面を直登して花咲登山道と出合う。後は雑木の中の尾根道。途中、N 君遭難の現場に花束を供え 7 時、前武尊山頂に到着した。小広い山頂に等身大の日本武尊像が屋根付きで立っているのがいかにも無粋。

ここから剣ヶ峰の岩峰群の通過が始まるはずだが、数年前の豪雨による崩壊で岩稜どおしコースが立入禁止になっており、



家ノ串から見上げる沖武尊への登路

に谷川連峰、東は今登って来た前武尊の向こうに奥白根山、皇海山、南は赤城山、榛名山、西は四阿山、草津白根山など、山の名前を挙げれば際限もない。存分に眺望を楽しみ 10 時、武尊牧場に向かい下山を開



武尊山頂からの至仏山・燧ヶ岳遠望

始した。武尊牧場分岐まで戻り、セビオス岳経由の経路を取る。途中に数カ所クサリ場があり、順番待ちにすっかり時間を取られた。しかし時間もたっぷりあり 11 時半、セビオス岳の心地よい草原に座りこんでのんびりと昼食休憩。

後はブナやクヌギ林の中の長い下り。14 時、武尊牧場の駐車場到着。出迎えの民宿の主人の笑顔に迎えられた。

家ノ串から振り返る剣ヶ峰



標識に従い左の巻き道をたどった。岩場の登り下りを数回繰り返し 9 時、家ノ串山頂。この先は、灌木と熊笹に覆われたなだらかな尾根歩きとなる。途中、武尊牧場分岐を